



# SDGs～持続可能な社会を目指して～ Vol.1

問政策財政課 ☎516712

市では、持続可能な社会を目指してSDGsの取り組みを進めています。次世代につなぐ、よりよい未来を実現するため、世界共通の17の国際目標の達成に向けた市の取り組みや、一人一人ができることなどを今号から連載で紹介いたします。

## SDGsって何？

SDGs (Sustainable Development Goals/持続可能な開発目標) とは、平成27 (2015) 年に国連サミットで採択された令和12 (2030) 年までに達成を目指す世界共通の目標です。

「誰一人取り残さない」を基本理念に17のゴールと169のターゲットが設定されています。

## 17のゴール

17のゴールでは、貧困や環境問題の解決、経済成長などの多様な目標を掲げています。全ての目標に相関関係があるため、総合的に取り組むことが必要であり、一つの取り組みの達成が他の目標の達成につながる場合があります。

## なぜ、SDGsに取り組むのか

現在、世界では飢餓や貧困、差別やハラスメント、地球温暖化や自然災害の発生、経済格差の拡大など、環境、社会、経済の面でさまざまな課題を抱えています。

私たちや次の世代が安全に安心して住み続けることができる、よりよい未来を実現するためにSDGsの達成に取り組む必要があります。



## 十和田市は「SDGs日本モデル」宣言に賛同しています

市では、令和2年3月に「SDGs日本モデル」宣言に賛同し、地域のステークホルダー（関係者）との官民連携を進め、地域の課題解決と地方創生を目指していくこととしています。

※「SDGs日本モデル」宣言とは、地方自治体が国や企業、団体、学校・研究機関、住民などと連携して、地方からSDGsを推進し、地域の課題解決と地方創生を目指していくという考え・決意を示すものです。令和3年12月10日現在、430の自治体（42都道府県、388市町村）が賛同しています。

## 十和田市立中央病院地域医療連携だより 病院の食事について紹介します

第5回（全7回）

問中央病院 ☎235121

食事は入院中の楽しみの方と考え、治療上の制限を守りつつもおいしく召し上がっていただけるよう、スタッフ一同で食事作りに取り組んでいます。季節に合わせた各種行食いや、「こんな食事が出るの?」と思われるメニューにも挑戦しながら、少しでも食事を楽しんでもらえるような献立を考えています。

ところで、日本人の「食事摂取基準」という言葉を知っていますか。聞き慣れない言葉だと思いますが、この基準の中に日本人の1日当たりの食塩摂取の目安があり、7g/日以下とうたわれています。病院食も「食事摂取基準」に準じて作りますが、地域柄、食塩を10g/日程度摂取していると思われるため、当院では10g/日以下で、なるべくおいしく食べてもらえるような食事を提供しています（疾患によっては減塩食の場合もあります）。

また、主に生活習慣病（糖尿病、高血圧、心臓病など）やがんの患者さんを対象に、<sup>えんげ</sup>嚥下調整食（のみ込みやすい食事）や低栄養などの栄養指導も行っています。患者さんの食生活や嗜好、食事への思いなども伺いながら、家庭でも実践できる食事方法を一緒に考え提案しています。

